



軍事局第七〇号

次官ヨリ參謀次長及教育總監部本部長

一照會案

空中偵察及航空機操縦將校ノ養成ハ現時ノ
趨勢上頗ル急務ト被存候。就テハ交通術
修業員分遣規則ニ依リ別紙要領ニ從ヒ
是等人員養成致度御承知上、空中偵察
將校要員トシテ貴所管ヨリ將校数名ヲ選定
シ列次名簿調製ノ上御通牒相成度候也依
追テ航空機操縦將校要員ハ内地各師團
一通牒ニ選定可致候條申添候也

陸軍省 陸普第一四四七號 四月廿四

及照會



右異存ナキ旨回答アリタル上

高級副官ヨリ内地各師團參謀長へ

通牒案

今般交通術修業員分遣規則ニ基キ別紙空中偵察及航空機操縦將校養成要領ニ依リ將校ヲ氣球隊へ分遣スル標被定候就テハ航空機操縦將校候補者トシテ適任者數名ヲ選定シ列次名簿及考科表寫調製ノ上來ル五月三十日迄ニ進達相成度候也

(但シ近衛師團及第一師團參謀長宛ノモノ)

ニハ前文中就テハノ次ニ「空中偵察將校候補
者一名及ヲ入レ」追テ空中偵察將校候補者
名簿八月二十日迄ニ進達相成度申添候也ヲ追
書ス

陸軍省
選達

陸軍省第一五八八號

五月九日

參勤
水部

庶目第二六七號、二

五月八日

(湘侯印行參)

空中偵察及航空機操縦將校養成所

明治三十五年五月七日參謀次長大島健

陸軍次官岡市之助殿

陸軍第一四四七聯ヲ以テ空中偵察及

航空機操縦將校養成、儀ニ付御照會

、件異存無之儀也

追テ右將校要員、列次名簿、追テ可致通

牒候

陸

明治四十五年四月三十日

官方紙

空中偵察將校及航空機操縦將校養成要領

甲、空中偵察將校

一、戰時航空機關ヨリスル諸般ノ偵察ニ任セシムル目的ヲ以テ當分ノ内六月ヨリ八月ニ至ル三ヶ月間大

(中)尉六名ヲ氣球隊ニ令遣ス

一、今遣將校ノ教育ハ氣球隊長之ニ任シ主トシテ緊

要氣球及自由氣球ヲ以テ實施シ兼テ臨時軍用

氣球研究會ニ於ケル飛行機及飛行氣球ニ由テ

行フ

三、氣球隊長ハ教育ノ關係上今遣將校ヲ一時其ノ厚

所管ニ復歸セシメ置クコトヲ得

陸

軍

四、分遣將校ハ東京在職ノ陸軍大學校出身者ニシテ
身体強健、視力確實ナルモノヨリ選抜ス

乙、航空機操縦將校

一、航空機ノ操縦ニ任セシムル目的ヲ以テ當分ノ内中(少尉
五名ヲ一箇年間氣球隊ニ分遣ス

二、分遣將校ノ教育ハ氣球隊長之ニ任シ主トシテ臨時軍用
氣球研究會ノ航空機ニ就テ之ヲ行フモノトス

三、分遣將校ハ身体強健、視力確實、性質沈著注意周
到ニシテ決断力ニ富ミ且ツ數學及理學ノ才アル者ニ
シテ志願ノ者ヨリ選抜ス

理由

甲

一 航空機關ニヨリ 諸般ノ偵察ヲ實施センニハ大氣ノ
 感應 航空機ノ動搖ニ馴レ 瞬間ノ視察ヲ以テ
 方位ノ判定情況ノ鑑別ヲナシ且ツ適時之ヲ報告
 スルノ技能ヲ有セサルヘカラス之レカ爲學識體力
 優秀ナル將校ヲ選抜レ豫メ必要ナル教育ヲ施
 スヲ要ス而シテ之等將校ハ戰時重要ノ職務ニ充當
 セラレ 偵察ハ自然ニ業務トナルヘキヲ以テ平時ヨリ
 成ルヘク多數ノ人員ヲ養成シ置クコトヲ希望ス
 ルモ經費及器材ノ關係上其ノ人員ヲ目下教育

シ得ル最小限ニ止ムルヲ要ス

ニ空中偵察ノ爲一順ノ教育ヲ終ルニハ天候ノ顧慮上
 三箇月ヲ要ス而シテ之カ教育ハ天候ニ關係スルコト
 極メテ大ナルヲ以テ其ノ教育期ハ之カ影響少キ六
 月ヨリ八月ノ間トシ且ツ此ノ期間ト雖氣球昇騰
 ニ適スルハ毎月多クモ十五日ニ過キサルヲ以テ分遣將
 校ヲ終始氣球隊ニ分遣シ置クハ不利ナリ故ニ教育
 上之ヲ要セサル時ハ一時之ヲ原所管ニ復歸セシメ
 置クヲ可トス

乙

一、航空機関ノ價值ヲ發揮スルハ主トシテ機関ノ巧妙ナル操縦ト偵察將校ノ卓越セル技能トニヨルモノニシテ操縦員ノ養成ハ實ニ之カ第一著手ナリトス然ルニ目下操縦員トシテハ單ニ氣球隊將校ヲ之ニ充當シツツアルモ其ノ數極メテ僅少ニシテ到底所要ノ要員ヲ養成スルコト能ハス故ニ當今ノ内中(少)尉五名ヲ氣球隊ニ分遣シ之カ養成ニ力ムルハ目下急務トス

二、航空機関ノ操縦ハ本人ノ希望性質體格等ニヨリ著シク巧拙ヲ来スモノトス故ニ此ノ任ニ當ル將校ハ氣球隊附將校ノ外廣ク各兵科ノ將校ヨリ最適任

者ヲ選拔スルヲ要ス又操縦術ハ多大ノ練磨ヲ要シ
 之ヲ修得ニハ比較的長時日ヲ要スルヲ以テ其ノ教
 育期間ヲ一箇年トスルヲ要ス

1622

次官

教育總務部 陸軍次官 第五二一號

空中偵察及航空機操縱將校養成所開校

昭和五年青

教育總監部本部長本郷房太郎

陸軍次官 岡市之助

空中偵察及航空機操縱將校養成所

儀、付陸軍第一四四七號照會之趣異

存無之候也

追手要員、選定、上強テ通牒可致候

五月三日

(島村印行)

陸軍

教育總監部
達
教庶第五九四號

空中偵察將校選定、件通牒

明治四十五年五月二十日

教育總監部本部長本郷房太郎

陸軍次官岡市之助殿

陸軍第一四四七號照會、空中偵察

將校要員トシテ當所管有左記、通り

選定候ニ付承知相成度及通牒候也

追テ陸軍戸山學校ヲ選定スルトキハ學

生教育上困難一の致候ニ付成ルヘク除外

セラレ度申添候也

左記

五月廿日
青書

第一	陸軍士官學校教官	莫針末松茂治
第二	同	同 平塚直巳
第三	陸軍戸山學校教官兼教導大隊隊長	同 大家徳一郎



陸軍部 庶務第二十七號

空軍偵察將校名簿に列記名簿送付は通牒

明治四十五年九月廿三日

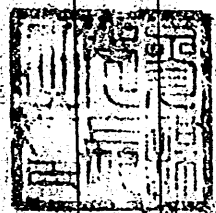
陸軍部 庶務 大島

陸軍部 官圖部 助

陸軍部 第一四七号 空軍部 空

中 偵察將校名簿に列記名簿送付は

通牒に付 案以 叙及 通牒 力



五月廿三日

（細線印行）

陸軍

1626

空中偵察將校要員列次名簿

陸

軍

空中偵察將校要員列次名簿

參謀本部



第一	陸軍歩兵大尉	小澤寅吉
第二	同	杉山元
第三	同	角田政之助
第四	陸軍砲兵大尉	浅田禮三
第五	陸軍歩兵大尉	外山豊造
第六	同	岸孝一

1628

列次名簿

臣

目



近衛第四十七號

航空機操縦將校候補者
選定ノ件

明治四十五年五月廿九日 近衛師團長 載仁親王

陸軍大臣 男爵 上原勇作殿

當師團航空機操縦將校候補者七
名別紙列次名簿ノ通選定候條考
科表寫相添及進達候也



五月三十日



陸軍

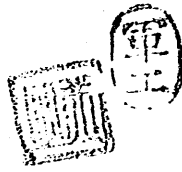


航空機操縦將校候補者別次名簿

第一	野砲兵第十三聯隊附	陸軍砲兵中尉	木村 鈴四郎
第二	近衛歩兵第二聯隊附	陸軍歩兵中尉	山内 武雄
第三	野砲兵第十四聯隊附	陸軍砲兵中尉	西 長盛
第四	近衛歩兵第二聯隊附	陸軍歩兵中尉	布川 午司
第五	近衛歩兵第三聯隊附	陸軍歩兵中尉	福島 四郎
第六	近衛歩兵第一聯隊附	陸軍歩兵中尉	河野 通幹
第七	近衛歩兵第四聯隊附	陸軍歩兵中尉	山腰 明將

陸

軍



第一師團
副官部
人高第一〇六號

航空機操縦將校候補者撰定ノ件報告

明治四十五年九月廿九日

第一師團長男爵木越安房

陸軍大臣男爵上原勇作殿

本月九日陸番第一五八八歸、基キ航空機操縦
將校候補者列次名簿及考科表寫別紙、通
り及進達候也

陸
軍



丙

航空機操縦技候補者列次名簿

第一師團

第一	步兵第一聯隊附陸軍歩兵中尉伊勢春海
第二	重砲兵第二聯隊附陸軍砲兵中尉早尾驥子雄
第三	野砲兵第十七聯隊附陸軍砲兵中尉宮内陽輔
第四	歩兵第四十九聯隊附陸軍歩兵中尉渡邊三郎
第五	野砲兵第十八聯隊附陸軍砲兵中尉芹川透
第六	歩兵第四十九聯隊附陸軍歩兵中尉木村晃
第七	歩兵第四十九聯隊附陸軍歩兵中尉佐生孝司
第八	歩兵第四十九聯隊附陸軍歩兵少尉松本彞男

陸

軍

仙人高号外

航空機操縦者校適任者職名訂正件通牒

明治四十五年五月平吾 第二師團参謀長市川堅太郎

陸軍省副官竹嶋音次郎殿

五月十四日付仙人高号第七号ヲ以テ上申セル航空機操

縦者校適任者列次名簿中 歩兵第三十二聯隊附陸軍歩

兵中尉大塚傳三郎ヲ歩兵第三十二聯隊大隊副官陸軍

歩兵中尉大塚傳三郎ニ銜訂正相成度候也

可也

陸軍



七六

五月廿七日

五月廿七日

航空機操縦將校適任者選定、件上申

明治四十五年五月二十四日 第二師團長 仁田原重行

陸軍大臣 男爵 上原勇作 殿

陸普第一五八八号ニ依リ航空機操縦將校候補者

トシテ別紙列次名簿ノ者四名ヲ選定致候ニ付考

科表寫相添へ反上申候也



軍

航空機操縦将校候補者列次名簿 第二師團			
列次	職	官	氏名
第一	歩兵第三十二聯隊附	陸軍歩兵中尉	大塚傳三郎
第二	歩兵第四聯隊附	陸軍歩兵中尉	二階堂健
第三	歩兵第六十五聯隊附	陸軍歩兵少尉	船江源三郎
第四	輜重第三大隊附	陸軍輜重兵少尉	米村四郎

考科表字連名簿

第二師團

步兵第三大隊附

陸軍少尉大塚傳三郎

步兵第四大隊附

陸軍少尉二階堂健

步兵第五大隊附

陸軍少尉船江源三郎

輜重第三大隊附

陸軍輜重少尉米村四郎

陸軍



陸軍省 第五號

航空機操縦將校選定件回答

昭和十五年五月三日 第三師團參謀長 西川虎次郎

陸軍省副官 竹島音次郎 殿

本月九日陸晉第一五八八號ニテ通牒ノ航空機操縦將校候補者トシテ適任者四名選定シ列次名簿及考料表寫相添、及回答候也

陸軍省 第八二〇號



1637
1637-2



021

航空機操縦將校選定件回答

昭和十五年五月三日第三師團參謀長西川虎次郎

陸軍省副官竹島音次郎殿

本月九日陸晉第一五八號ニテ通牒ノ航空機
操縦將校候補者トシテ適任者四名選定シ列次
名簿及考料表寫相添、及回答候也



五月三日

航空機操縦将校候補者列次名簿

所屬隊	列次	官等氏名
輜重兵第三大隊	一	輜重兵少尉西藤金作
歩兵第六十八聯隊	二	歩兵少尉廣瀬友吉
同	三	歩兵中尉岩田文男
同	四	同 川本國吉





四人高第六八號

航空機操縦將校候補者選定ノ件報告

明治四十五年五月二十七日 第四師團長一戸兵衛

陸軍大臣男爵上原勇作殿

本年陸普第一五八號陸軍省副官通牒ニ基キ
航空機操縦將校候補者別紙列次名簿ノ通選
定候條考科表寫相添へ此段及報告候也

五月二十日

三補

五月三日

陸

軍

航空機操縦將校候補者列次名簿

第一	歩兵第三七聯隊	陸軍歩兵中尉	鳥居邦三
第二	歩兵第三十聯隊	同	谷澤秀一
第三	歩兵第八聯隊	陸軍歩兵少尉	田邊 寛
第四	歩兵第七十聯隊	同	有田正次
第五	重砲兵第三聯隊	陸軍砲兵少尉	米島吉太郎

陸

軍

第五滿報第七二號

取空機操經將校候補者考科表馬送等仙通深

明治十五年二月四日

陸軍省副官竹鳴吉次郎殿



陸軍省副官竹鳴吉次郎殿

五月三日滿報第七二號

候補者標定此田答中左記者ニ對シ別紙考

科表馬送付候也

追々他ノ者ニ對スルハ面字部ニ送付ス等付申添矣

左記

陸軍省中尉管辰次

陸軍

第八二二號

五月十日



2-1791
1641

陸軍報第七二

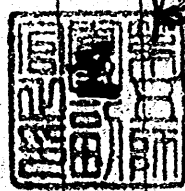
六月十日

航空機操縦將校候補者考科表寫送付、仙通課

明治十五年二月四日

陸軍省副官牧達

陸軍省副官竹鳴吉次郎殿



五月三日滿報第七二號、以テ航空機操縦將校
候補者標定、此回答中左記者ニ對テ別紙考
科表寫及送付候也

追テ他ノ者ニ對テハ、面會部ヨリ送付ス等付申候矣

左記

陸軍省中尉菅辰次

陸軍

(軍二)

第五師團 報第一〇八號

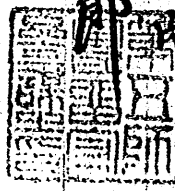
航空機操縦校候補者撰定、關に件通

明治十五年五月三日

第五師團留守參謀

松崎新太郎

陸軍省副官竹嶋音次郎殿



陸軍省第五八八号、依航空機操縦校候補者撰定
人名に滿洲派遣隊に殘留隊に、相方、有之、之、調査

、時日、要し、為、に、指定、期日、上申、ス、ル、ヲ、不得

候條、御令、に、置、相、成、度、候、也

追テ派遣師團ヨリ本日當部へ發送セシ方電部迄未

リ候、分、應、ク、モ、本、月、五、日、頃、迄、ニ、發、送、ノ、豫、定、有、

ニ、候、条、申、候、候、

陸軍

陸軍省 第五師團 八二〇號

五月三日

六月三日

第六師團
司令 第八師團
第七〇號

六月一日



第六師團
司令 第八師團
第七〇號



航空機操縦將校候補者ノ件上申

明治四十五年九月二十九日

第六師團長梅澤道

陸軍大臣男爵上原勇作殿

本年陸普第一九八八號 通牒：基キ航

空機操縦將校候補者別紙列次名簿

ノ通り送付候也

追テ各人考科表写相添候条申添候

航空機操縦將校候補者川次名簿 第六師団			
列次	所属隊号	階級	氏名
第一	工兵第六大隊	工兵中尉	佐藤求巳
第二	野砲兵第六大隊	砲兵中尉	山西行彦
第三	輜重兵第六大隊	輜重兵中尉	吉原 祇吉
第四	歩兵第四十五隊	歩兵中尉	春田 榮熊

軍 領 第 八 二 〇

航空機操縦將校候補選定、件進達

明治三十五年五月五日

第七師團長 林 太一

陸軍大臣男爵上原勇作殿

陸軍第一五八號ヲ以テ通牒相成リ航空機操
縦將校候補者トシテ左記ノ通選定シ列次名簿
及考科表寫相添及進達候也

左 記

歩兵第二十五聯隊附

陸軍歩兵中尉 川上倉吉

陸軍歩兵少尉 磐井虎二郎

第七師團 北人高第五一號



五月廿日



步兵第三十七聯隊附

陸軍歩兵中尉

甲谷佐和

陸軍歩兵少尉

安達保藏

步兵第三十八聯隊附

陸軍歩兵少尉

荒井榮之助

航空機操縦將校候補列次名簿

升七戸用

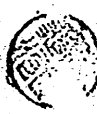
第一	陸軍歩兵少尉	荒井榮之助
第二	陸軍歩兵中尉	川上倉吉
第三	陸軍歩兵中尉	甲谷佐和
第四	陸軍歩兵少尉	磐井虎二郎
第五	陸軍歩兵少尉	安達保藏

陸

軍



弘治第一五八號



第八二〇號



弘治第一五八號

弘治第一五八號

空中偵察及航空機操縦

將校選定方件通牒

明弘治五年五月廿日第八師團參謀長大村信行

陸軍省副官竹島吉次郎殿



(丙)

去以五月九日附陸軍省第一五八號通牒ノ
將校選定方ニ就テ當師團ハ準備地遠
隔ノ關係上朔日迄ニ取消難若干遲延
可致テ余等知生相成度及通牒也

弘乙第一七〇號

航空機操縦將校選定件通牒
陸軍省副官竹島音次郎殿
關平幸育台第師團參謀長大村信



六月十日

本年五月九日陸軍省第一五八號ヲ以テ通牒相成矣航空機操縦將校當師團ニ於テ志願者無之候条及通牒也

(軍)

1650

第九師團
司令部

人高第四五號

航空機操縦將校候補者、件上申

明治四十五年五月十五日第九師團長 神尾光隆

陸軍大臣男爵上原勇作殿

本月九日附陸普第一五八號、副官通牒、基キ航空
機操縦將校候補者別紙列次名簿ノ通選定
上考料表寫相添、進達候也

新

五月廿七日

五月廿七日

陸軍

陸
軍

航空機操縦將校候補者列次名簿						
列次	第	第	第	第	第	第
一	二	三	四	五	六	七
步兵第三大隊	步兵第六大隊	步兵第五大隊	步兵第三大隊	同	同	同
中尉	同	同	同	步兵少尉	同	同
小川雪	田中哲	吉川澄	小川哲齊	西垣新七	永村準一	大木繁
以上七名						

陸軍



第十師團 第一七三

航空機操縦將校候補者、件上申

明治四十五年五月廿日第十師團長松川敏胤

陸軍大臣男爵上原勇作殿

五月九日陸普第一五八號 通牒、航

空機操縦將校候補者トシテ別紙列

次名簿、通選定致候ニ付考科表

寫相添へ及上申候也



五月三十日



陸軍省

陸

軍

航空機操縱將校候補者列次名簿 第十師團			
列次	所屬部	官等	氏名
1	歩兵第十聯隊	歩兵中尉	田中靜堂
2	歩兵第二十聯隊	全	赤星哲之助
3	歩兵第四十聯隊	全	石黒貞藏



1654

陸軍省訓令 副親第二八八號

五月三十日

航空機操縦將校候補者選定件上

明治三十五年五月二十日

第十一師團長依田廣義

陸軍大臣男爵上京勇作殿



陸軍省第一五八八號副官通牒ニ依リ航空機操縦
將校候補者トシテ別紙ノ通牒是考科表字ノ添
及上申候也



1655

第十一師團

航空機操縦将校候補名列次名簿

第一陸軍輜重兵少尉 武田次郎

第二陸軍歩兵少尉 奥島盛恵

以上

1657

1656

第十二師
國司令部
人高第

八一

第八二〇號

五月廿二日

(丙)

航空機操縦將校選定ノ件上申

明治四十五年五月二十五日第三師團長男爵山根武亮

陸軍大臣男爵上原勇作殿

五月九日陸普第一五八號ヲ以テ航空機操縦將校候補者トシテ適任者選定、通牒ニ依リ左記選定ノ上考科表相添ヘ及上申

左記

歩兵第七十三聯隊

歩兵中尉八田敬次郎

歩兵第七十四聯隊

同 西田 延雄

同

歩兵少尉松井太久郎

1657

959T



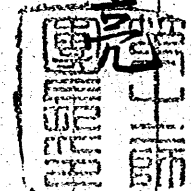
〇
〇
〇

陸軍大臣

航空機操縦將校選定ノ件上申

明治四十五年五月二十五日第百三十一師團長男爵山根武亮

陸軍大臣男爵上原勇作殿



五月九日陸普第百一十八師ヲ以テ航空機操縦將校候補者トシテ適任者選定ノ通牒ニ依リ左記選定ノ上考科表相添ヘ及上申

左記

歩兵第七十三聯隊 歩兵中尉八田敬次郎

歩兵第七十四聯隊 同 西田 近雄

同 歩兵少尉松井太一郎

1658

野砲兵第三聯隊

砲兵中尉加藤貞一

1659



第十三師團高第 七三號

航空機操縦將校候補前選定件

明治四十五年五月廿五日 第三師團長良田外

陸軍大臣男爵上原勇作殿

左記、前航空機操縦將校候補前選定件トシテ通任ト被

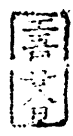
考美三付陸軍第五八八聯通機ニ依リ列名

簿及考科表寫相添及上申事也

左記

歩兵第六師團 陸軍歩兵少尉倉林公任

歩兵第五師團 陸軍歩兵少尉師橋渡



099T

航空機操縦時役務補系列次名簿

第十三師團

列次 隊 官 氏 名

第一 歩兵第六隊 陸軍歩兵少尉 倉林公任

第二 歩兵第五八隊 陸軍歩兵少尉 師橋 渡

1991



第十四師團參謀部 第四七号

航空機操縦将校候補者ノ件通牒

明治四十五年五月十八日

第十四師團參謀長佐藤祐三

陸軍省副官竹島音次郎殿

陸軍省第一五八八號通牒ニ依リ航空機操縦将

校候補者トシテ別封列次名簿及考科表寫氏

名ノ者ノ選定相成候間承知相成度候也

ハニノ 號



陸軍



五月廿九日



千十四師團

航空機操縦將校候補者列次表

第一	步兵第六聯隊附陸軍步兵少尉	鶴飼	尚
第二	同 第二聯隊附 中尉	福島	成
第三	同 第五十九聯隊附 同 少尉	井上	美暢
第四	同 同	野口	誠

陸

軍



1663



五將第

五九號

五月廿八日



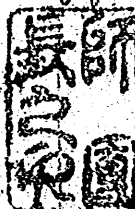
五月廿八日



陸軍大医男爵上原勇作殿

明治三十五年五月二十七日

第十五師團長内山小二郎



陸軍大医男爵上原勇作殿
陸軍第一五八號通牒依、航空機操縦
将校候補者、選定、別紙列次右簿、考
科表、相添、及上申候也

陸軍大医男爵上原勇作殿

八二〇

陸

軍

航空機操縦技師候補者列決名簿

第一 陸軍少佐藤田 國 楠之助

第二 陸軍少佐藤田 陸軍中尉 荒木幸吉

第三 陸軍少佐藤田 陸軍中尉 田中正孝

第四 陸軍少佐藤田 陸軍中尉 幸田 昇

第五 陸軍少佐藤田 陸軍中尉 若松健三

右候補者陸軍中尉 國 楠之助、従前より

航空機の研究、従来より外國雜誌、閱讀其

他斯界書籍、涉獵し且昨四十四年夏期休

暇、利用して親しく所澤、於て實物、研究

し遂にタル者ニシテ其智識能力、体格、性質

1665

岩通件者下被認修付中添修

〔東京、瀬味〕



三

110



卷廿四

明治四十五年五月三十日

第六師團長男爵山中信儀

陸軍大臣男爵上原勇作殿

航空機操縱將校候補者別次名簿及考科表寫別紙，通及上申候也。

航空機操縦將校候補者別次名簿

- | | |
|-----|-----------------------|
| 第一位 | 歩兵第九聯隊附陸軍歩兵少尉 吉岳新治 |
| 第二位 | 歩兵第九聯隊附陸軍歩兵少尉 小林 碧 |
| 第三位 | 歩兵第五十三聯隊附陸軍歩兵中尉 若宮 吾一 |
| 第四位 | 歩兵第五十八聯隊附陸軍歩兵中尉 古田 登 |

陸

電



第十七師團教第三二號

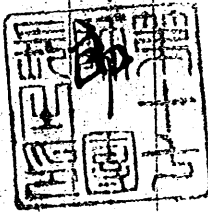


五月三十日

航空機操縦將校候補者件上申

明治四十五年五月二十日第十七師團長仙波太

陸軍大臣男爵上原勇作殿



陸軍第一五八號ニ據リ航空機操縦將

校候補者別紙列次名簿及考科表寫

相添上申候也

追テ徳田中尉ハ右手續中ニテ五月二十日阿基

博歩号第二號隊所ニ補セテ候者ニ付申

添候

陸

軍

699I

陸軍

航空機操縦將校候補者列次名簿				第十七師團	
列次	職	官	氏名		
第一	歩兵第三十一聯隊附	歩兵中尉	徳田金一		
第二	同	同少尉	柏木仁義		
第三	歩兵第五十四聯隊附	同中尉	坂井豊		

049T



航空機操縦將校候補件上申

五月廿八日

航空機操縦將校候補件上申

明治四十五年五月二十五日 第十八師團長大迫尚道

陸軍大臣男爵上原勇作殿

陸普第一五八八号ニ依リ航空機操縦將校候補者トシテ

別紙列次名簿ノ人名ヲ選定候条考科表寫相添及

上申候也

陸軍

航空機操縦候補者列次名簿

第一	陸軍歩兵少尉	坂元守吉
第二	同 中尉	原身武
第三	同	松野三生
第四	陸軍砲兵中尉	堺義明
第五	陸軍歩兵中尉	桑名照貳
第六	同	納富五郎
第七	同	福田伊五郎
第八	同	市村穰
第九	同 少尉	神宮司操

陸軍

2-1691

1531

軍 器

率先躬行職務三忠實且通
術三習熟久身王藝術趣味豊富



第八回

同

同

新宮同縣

市林縣

新田平五郎

橋本五郎

第五回 新軍少佐中島 桑多照廣

第四回 新軍少佐中島 社義昭

第三回 同 中島 社義昭

第二回 同 中島 社義昭

第一回 新軍少佐中島 社義昭

新軍少佐中島 社義昭



(軍二)

近衛師團三五十一聯

空中偵察將校候補者

一件 回答

明治三十五年五月二十日

近衛師團參謀長内野啓

陸軍省副官竹嶋音次郎殿

去ル五月九日陸省第

一五八號

通牒ノ空中偵察將校候補者

當師團内ニ無之候條及回答

五月二十日



五月二十日



陸軍

第一師團
副官部
人高第九七號

空中偵察將校候補者擬定、件上申

明治四十五年正月

第一師團長男爵木越安

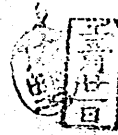
陸軍大臣男爵上原勇作殿

本月九日陸軍部第一五八八號通牒、基に空中

偵察將校候補名簿及考料表寫別紙

ノ面、及進達候也

陸軍部
第一五八八號



空中偵察將校候補名簿

歩兵第一聯隊

陸軍大學校卒業年月日

職

官等

氏名

明治三十四年十一月二十九日

歩兵第一聯隊中隊長

大尉

梅澤美治郎

備考

一、身体強健 視力完全ナリ

考

航空機操縦將校養成要領

一 航空機操縦ニ任スヘキ將校養成ノ爲中
少尉五名ヲ當分ノ内一箇年間氣球隊ニ
分遣ス

三 分遣將校ノ教育ハ氣球隊長之ニ任シ主トシ
テ臨時軍用氣球研究會ノ航空機ニ就テ之
ヲ行フモノトス

陸
軍

949T



院



軍事課連帶 補任課聯帶

主務局長 工教日初二九 明治四五年五月 日	裁決	大臣	件番受 名號領 戴才八二〇號
局長 聯帶	參事官	次官	密中領養及胞室職權從後養育
主務課長 代 田村	主務課長	高級副官	廳名 工兵課
審案筆記者	主務課官	主務副官 計	

参謀総長及教育總監へ通牒案 (交通術修業員分遣ノ件)			
交通術修業員トシテ左記ノ通氣球隊へ分遣相成度候也			
左記 (参謀総長行分)			
官氏名	修業科目	修業期間	分遣期日
陸軍歩兵大尉小澤寅吉			
同 杉山 元			
同 角田政之助	空中偵察術	三箇月	六月一日
陸軍砲兵大尉浅田禮三			
左記 (教育總監行分)			
五月廿八日			

官氏名	修業科目	修業期間	分遣期日
陸軍歩兵大尉末松茂治 同 平塚直己	空中偵察術	三箇月	六月一日
近衛師団長へ達案			
交通術修業員トシテ左記通氣球隊分遣ス別紙要領基テ放 音ラ受施セシム編修軍用氣球研究会器材使用訓練會場協議セシム			
左記			
一町管官氏名	修業科目	修業期間	分遣期日
参謀本部 陸軍歩兵大尉小澤寅吉 同 杉山元			

月	陸軍砲兵大尉 淺山禮三	陸軍歩兵大尉 末松茂治	教育總監部	月
月	角田政之助	平塚直己		月
空中偵察術				
三箇月				
六月一日				

臨時軍用氣球研究會長 達業

交通術修業員トシテ左記ノ通氣球隊ニ入會

之別紙要領ニヨリ教育ヲ實施セシム教育上其會

岩崎八郎中尉、東京陸軍飛行隊隊長、協議應二一

左記

(左記近衛師國長へ達、左記同)

陸軍省
陸普第一八六號

五月廿八日

空中偵察將校養成要領

一 戰時航空機關ヨリスル諸般ノ偵察ニ任スル將校ヲ養成爲

當今ノ内六月ヨリ八月ニ至ル三ヶ月間大(中)尉六名ヲ氣球隊

ニ分遣ス

ニ 分遣將校ノ教育ハ氣球隊長之ニ任シ主トシテ繫留氣球

及自由氣球ヲ以テ實施シ兼テ臨時軍用氣球研究會

ニ於ケル飛行機及飛行氣球ニ由テ行フ

三 氣球隊長ハ教育ノ關係上分遣將校ヲ一時其ノ原所管

ニ復歸セシメ置クコトヲ得

陸 軍

有る

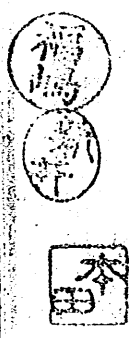
1891



交通術修業負入隊之件報告
 明治四十五年六月六日近衛師團長載仁親王
 陸軍大臣男爵上原勇作殿
 五月廿八日陸普第ハ六。第ヲ以テ達ニ相成リ
 交通術修業負六月一月全部氣球隊入
 隊任美間此段及報告スヤ

六月七日

近衛師團三九三



陸軍

水次

新記錄與新

上奏案

戰時航空機ヨリスル諸般ノ偵察ニ任スヘキ將校養
 成ノ為陸軍大學校出身ノ東京在職大(中)尉六名
 ヲ三箇月間並^又航空機ノ操縦ニ任スヘキ將校養
 成ノ為中(少)尉五名ヲ一箇年各當分ノ内毎
 年氣球隊ハ分遣修業セシムルコトニ取^取計^計矣
 右謹^テ奏ス

六月三日

1684



開



軍事課連帶、補任課連帶、器材課、主計課、連帶

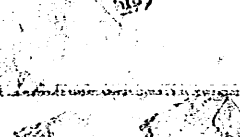
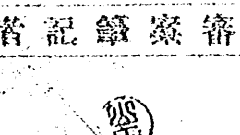
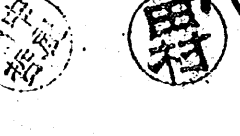
受領 番号	第八二號	廳名	工兵課
件名	空中偵察及航空機操縦將校養成件	大臣	
次官		参事官	
高級副官		主務局長	
主務副官		主務課長	
主計		主務課官	
主務課長		主務課官	
主務課官		主務課官	
主務課官		主務課官	

昭和九年六月十日

長



課



乙第一七

第八日



近衛、第土、第十五、第十八師団長、達案
 交通術修業員、左記、通氣球隊、分遣スヘシ

左記 (近衛師団行分)

官氏名	修業科目	修業期間	分遣期日
陸軍砲兵中尉木村鈴郎	航空機操縦術	一箇年	七月一日

左記 (第十五師団行分)

官氏名	修業科目	修業期間	分遣期日
陸軍輜重少尉武田次郎	航空機操縦術	一箇年	七月一日

左記 (第十五師団行分)

官 氏 名	修 業 科 目	修 業 期 間	分 達 期 日
陸軍騎兵中尉岡橋之助	航空機操縦術	一箇年	七月一日
左記（第陸軍省行）			
官 氏 名	修 業 科 目	修 業 期 間	分 達 期 日
陸軍歩兵中尉徳田金一	航空機操縦術	一箇年	七月一日
左記（第陸軍省行）			
官 氏 名	修 業 科 目	修 業 期 間	分 達 期 日
陸軍歩兵少尉坂元守吉	航空機操縦術	一箇年	七月一日
陸軍省 陸普第二〇九六號			
六月十四日			

近衛師団長へ達案

交通術修業員トシテ左記ノ通氣球隊ニ分遣ス別紙要領ニ
基キ教育ヲ実施セシムル但し臨時軍用氣球研究会器材ノ使用
ノ商ミハ同會長ト協議セシムル

左記

所管官氏名	修業科目	修業期間	分遣期日
近衛師団 陸軍砲兵中尉 木村鈴四郎			
第二師団 輜重兵少尉 武田次郎			
第十五師団 騎兵中尉 岡橋之助	航空機操縦術	一箇年	七月一日
近衛師団 歩兵中尉 徳田金一			
第十六師団 歩兵少尉 坂元守吉			

臨時軍用氣球研究會長入達案

交通術修業員トシテ左記ノ通氣球隊ニ分遣シ別紙要領ニヨリ教育ヲ実施セシム教育上其ノ會々器材ノ使用ニ關シテハ氣球隊長ノ協議ニ應スヘシ

左記

陸軍省
陸普第二〇九七號

六月十四日

(左記の通稱は國長へ達し左記と同一)

高級副官、近衛所屬參謀長、通條案

交通術修業員トシテ空中偵察及航空機標縦將
投リ氣球隊ハ分遣ノ糾達相成候處右ノ要ス徑

令達	六月廿日	計課	不日氣球隊へ増額可相成候条承知相成度也	陸軍省	陸普第二の九八號	六月十四日	
台灣總督、電報案	台灣歩兵第二聯隊附、中尉徳田金一ヲ七月一日ヨリ氣球隊へ分遣ス、ト細文	六月十四日	第十八師團長、電報案	一年間	歩兵第四十六聯隊附、少尉坂元守吉ヲ七月一日ヨリ氣球隊へ分遣ス、ト細文	陸ニクハ	六月十四日

069T

計	騎 重 科	工 兵 科	騎 兵 科	砲 兵 科	歩 兵 科	兵 科 師 團
						衛 近
七				二	五	衛近
八				△二	五	1
四	一				三	2
三	一				二	3
五				△一	四	4
七	一			一	五	5
四	一	一		一	一	6
五					五	7
						8
七					七	9
三					三	10
一	一				一	11
四				一	三	12
二					二	13
四					四	14
五			一	一	三	15
四					四	16
三					三	17
九				一	八	18
八				一	六	計
六	五	一	一	一	八	

備考

△△重砲兵科將校トス

本表は第1師團の志願者員数表

飛空機操縦志願者員数表

明治四十五年六月調

陸

軍

1691

航空機操縦將校候補者列次名簿					
所管	部隊	番号	列序	官	氏名
第十五師團	騎兵第三聯隊	一	一	陸軍騎兵中尉	岡 樞之助
臺灣總督府	臺灣警備第三聯隊	二	二	陸軍歩兵中尉	徳田 金一
第十一師團	輜重兵第十大隊	三	三	陸軍輜重兵少尉	武田 次郎
第十六師團	歩兵第四十六聯隊	四	四	陸軍歩兵少尉	坂元 守吉
近衛師團	野砲兵第三聯隊	五	五	陸軍砲兵中尉	木村 鈴四郎
第六師團	工兵第六大隊	六	六	陸軍工兵中尉	佐藤 求巳
第一師團	歩兵第一聯隊	七	七	陸軍歩兵中尉	伊勢 春海
第五師團	野砲兵第三聯隊	八	八	陸軍砲兵中尉	荒木 事吉
第三師團	歩兵第十六聯隊	九	九	陸軍歩兵少尉	倉林 公任

備考 本表ハ各師團志願者中満任者十三名ヲ選拔シ満任ノ順序ニ記載シタルモノトス	第四師團	歩兵第三七聯隊	一〇	陸軍歩兵中尉 島居邦三
	第一師團	重砲兵第二聯隊	一一	陸軍砲兵中尉 早尾驥子雄
	第二師團	歩兵第七二聯隊	一二	陸軍歩兵中尉 八田敬次郎
	第三師團	輜重兵第三大隊	一三	陸軍輜重兵少尉 西藤金作

8691

補任

軍務

軍工

次官

大臣

近衛
師団
經由

内

交旅軍第一

新

號

司令部

近人甲第一

二一八號

近衛師団

大正元年十月三日

十月三日

丙

氣球隊分遣空中偵察將校關る件報告

大正元年九月廿六日

交通兵旅團長井上仁

陸軍大臣男爵上原勇作殿

本年六月空中偵察術修業、爲々參謀本部
及教育總監部所屬、將校ヲ氣球隊ニ分遣セシ
メラレ候ニ就テハ空中偵察將校養成要領ニ基キ
別紙第一号ノ通り教育指針ヲ與ヘ氣球隊長ヲシテ
別表ノ通り之方教育ヲ實施セシメ修業通去八月三十日
原所屬へ歸還致サセ候條修業員ニ對スル成績並所見
相添及報告候也

陸

軍

空中偵察將校教育指針

明治四十五年五月三十日 交通兵務團長井上仁郎

一 空中偵察將校ノ教育ハ戰時ニ於テ空中ヨリ偵察シテ
 我カ軍ニ利益アルヘキ地形目標等ヲ顧慮シ主トシテ
 繫留氣球上ニ氣球隊將校ト同業ヲ以テ之ヲ行ヒ
 次ニ單獨氣球ヲ以テ之ヲ行ハシメ稍熟練スルニ至レハ氣球
 隊將校ト同業ヲ以テ自由氣球上ニ於テ次ニ單獨ニ之ヲ
 行ハシメ最後ニ飛行氣球及飛行機ニ同業セシメテ
 若干回偵察術ヲ研究セシムルヲ要ス之カ爲メ分遣
 期中ハ可成毎日氣球ヲ昇騰シ偵察將校ヲシテ

頻繁ニ空中ニ昇騰シテ之ニ慣レシムヘシ

ニ偵察ニ用フル目標ハ方メテ戰時ニ遭遇スヘキ部隊
陣地等ヲ假設シ尚目標發見後之ヲ球上ヨリ
地上ニ報告シ次ニ高等司令部ニ傳達スル方法ヲ
研究セシムルヲ要ス之カ爲メ場合ニ依リ寫真術ヲ
應用セシムルコトヲ得

三學科トシテハ風雨等ノ爲メ空中偵察術ヲ實施シ得
サル時ヲ利用シ氣球飛行機等ノ概要ニ就キ
偵察者ヲ安心セシムルニ足ル程度ニ教フヘシ

自六月一日
至八月三十一日
氣球隊甲分遣將校空中偵察教育實施表

考 備	繫 留 氣 球						自 由 氣 球						飛行機		官 姓 名	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間		
一、飛行氣球、最後ニ一回其航空試運轉ヲ見學ニ供シタル而已ナルヲ以テ本表欄内ニ掲ケス 二、本表外寫眞術(十三回)氣象學(五回)氣球學(六回)飛行機學(三回)毆米飛行界ノ現況講話(三回)ヲ實施セリ	二七	一五、四一、〇〇	五	七、五〇、〇〇	三二	二二、三三、〇〇	六	〇、三五、〇〇	一	四、四〇、〇〇	七	五、一五、〇〇	四	〇、二五、四〇	全	末松茂治
	二七	一六、三一、〇〇	七	九、二四、〇〇	三四	二五、四五、〇〇	六	〇、三五、〇〇			六	〇、三五、〇〇	四	〇、三三、五七	陸軍歩兵大尉	角田政之助
	二四	一二、五五、〇〇	五	四、五三、〇〇	二九	一七、四八、〇〇	六	〇、三六、〇〇	一	四、三九、〇〇	七	五、一五、〇〇	三	〇、二五、三七	陸軍砲兵大尉	淺田禮三
	二二	一一、四七、〇〇	四	四、五七、〇〇	二六	一六、四四、〇〇	六	〇、二九、〇〇	一	四、三九、〇〇	七	五、〇八、〇〇	三	〇、一六、二〇	全	平塚直己
	二四	一三、四九、〇〇	五	四、四五、〇〇	二九	一八、三四、〇〇	六	〇、三四、〇〇	一	五、二〇、〇〇	七	五、五四、〇〇	四	〇、三〇、四三	全	杉山 元
	二三	一四、三五、〇〇	六	五、二〇、〇〇	二九	一九、五五、〇〇	四	〇、三三、〇〇	一	四、四〇、〇〇	五	五、一三、〇〇	四	〇、二七、〇二	陸軍歩兵大尉	小澤寅吉

469T

自六月一日 至八月三十一日 氣球隊甲分遣將校空中偵察術修業成績表					
成績		勤	原所屬	官 姓 名	
一、空中偵察ニ方リ沈着勇敢其成績優等ナリ	終始勉	參謀本部	陸軍歩兵大尉小澤寅吉		
二、自由氣球ノ要領ヲ收得セリ					
三、氣球ニ關スル氣象學、寫真術、一般ヲ會得セリ					
前ニ全シ	全	全	全	杉 山 元	
一、空中偵察ニ方リ泰然自若其成績亦良好ナリ	全	士官學校	全	平塚直己	
二、前ニ全シ					
一、其初メ稍ミスレハ船暈ノ僻アリシモ其訓練ニヨリ成績良好ナリ	全	全	陸軍歩兵大尉角田政之助		
二、前ニ全シ					
一、空中偵察ニ方リ泰然自若其成績亦良好ナリ	全	士官學校	全	末松茂治	
二、前ニ全シ					
三、前ニ全シ					

氣球隊分遣空中偵察將校ニ関スル所見

交通兵旅團長井上仁郎

交通術修業員トシテ將校ヲ氣球隊ニ分遣シ空中
偵察術ヲ修業セシメラルハ今回ヲ以テ嚆矢トス從テ
氣球隊ニ於ケル之ヲ教育法竝使用器材等充分ナラサリ
シ點アルノミナラズ修業員ニ於テモ其當初ハ船暈ヲ催
スモノアリテ所望ノ効果ヲ獲ルコト能ハサリシト雖修業
員ノ熱心ナル勉勵ニ依リ乗球ノ回数ヲ重スルニ從ヒ
漸次空中ニ慣レ其技倆モ亦大ニ進ミ修業末期ニ
至リテハ球上ヨリスル目標ノ發見氣球ニ関スル學科竝

寫真術ノ一般ヲ會得シ假令多少ノ風アルモ平然トシ
 テ築球シ空中偵察ニ從事シ得ル程度ニ至リタルモノ
 ト認ム然レトモ今後長ク斯道ニ遠カルトキハ目下ノ技
 倆ヲ失墜スルヤモ保シ難キヲ以テ機會アル毎ニ氣球
 隊ノ演習ニ参加シ復習セシメラルルコトヲ希望ス



43



(陸普) 次官より教育總監部本部長へ照会案

明治四十五年陸普第一四四七號、空中偵察將校及航空機操縦將校養成要領別紙、通改正致度依命及照會候也

陸軍省 陸普第一八九八號 六月十日

(在要存本同合、上)

(陸普) 副官より參謀本部總務部長、教育總監部度務課長、近衛師團參謀長、臨時軍用氣球研究會幹事へ通條案

空中偵察將校及航空機操縦將校養成要領別紙、通改正相成候條承知相成度也



注意

陸軍省
送達

陸軍省
第一九七一號

六月十日

六月十日

參謀本部總務部長宛ノモノハ「庚日第三八二號」ノモノ以テ
照會相成候ヲ又近衛師團參謀長宛ノモノハ「明治
四十五年陸普第一五八八號」通條ノ文字ヲ本文冒
頭ニ冠ス

陸
軍

村
田

空中偵察將校及航空機操縦將校養成要領

甲、空中偵察將校

一、偵察將校養成ノ目的ハ戰時參謀ノ勤務ニ服スル將校ヲミテ航空機殊ニ飛行機ニ同乘シ諸般ノ狀況ヲ偵察スルコトヲ修得セシムルニアリ

二、偵察將校養成ノ爲當分ノ内六月ヨリ三ヶ月間大(中)尉六名ヲ氣球隊ハ分遣ス之ヲ爲必要ナル器材ハ氣球隊及臨時軍用氣球研究會ノモノヲ使用スルモノトス

三、偵察將校ハ東京在職ノ陸軍大學校卒業有ニシテ

身体強健視力確實ナル者ヨリ選抜ス

乙、航空機操縦將校

- 一、操縦將校養成ノ目的ハ軍事ノ要求ニ應ジ航空機ヲ操縦スルノ技能ヲ修得セシムルニヤリ
- 二、操縦將校養成ノ爲當分ノ内中(少)尉八名ヲ一ヶ年間氣球隊ハ分遣ス之ヲ爲必要ナル器材ハ氣球隊及臨時運用氣球研究會ノモノヲ使用スルモノトス
- 三、操縦將校ハ身体強健視力確實性質沉着剛膽注意周到ニシテ決断力ニ富ミ數學及理學ノオヲ有シ且志願ノ者ヨリ選抜ス

第貳卷

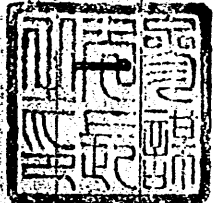
六月三日

本部 廢日第二八二 跡六

空中偵察將校及航空機操縦
將校養成要領一部改正件照會

大正二年六月三日 參謀次長 大島 健

陸軍次官 本郷 房太郎 殿



明治四十五年陸普第一四四七號ヲ以テ照
會、空中偵察將校及航空機操縦將
校養成要領中甲第二項ハ我國航空曳
ノ現状ニ於テハ既ニ左ノ如クスル方妥當ト
被考候間此際改正相成様致度候也

左記



二分遣將校教育ノ目的ハ戰時參謀ノ要
務ニ充ツル者ヲシテ航空機主トシテ飛行機
ニ全乗シテ諸般ノ狀況ヲ視察スルコトヲ修得
セシムルニ在リ



軍事課連帶

軍五年
軍事局第七。景
丙

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

上奏案

氣球隊へ分遣中ノ航空機操縦將校今般終業
 致候ニ付六月三十日臨時軍用氣球研究所澤
 試驗場ニ於テ飛行機操縦術修業證書立同
 修得徽章授與式ヲ施行可致又當分ノ内毎
 年氣球隊へ分遣修業セシムヘキ航空機操縦
 校五名ヲ八名トスルコトニ取計候
 右謹テ奏ス

六月廿七日

陸軍部 教庶第七二號
 空中偵察將校及航空機操縱將校
 養成要領改正之件 回答
 陸軍次官本郷房太郎殿
 空中偵察將校及航空機操縱將校養成要
 領改正之件 陸軍第一八九號 照會之趣
 異存無之候也

陸

軍